**げるときにすること（３）**

**さいをつけたら、ちいてをしましょう**

もし、くでをつけたら、まず、ですことができるかどうかちいてえてください。

もし、がさかったら、をうか、をでぬらしてからかぶせると、がえます。

くにがいるは、にをすことができるかしてください。

がきくてですことがしいは、いでがないほうへげてください。

のあと、がきていないか、くのとにするとです。

**地震（じしん）　逃（に）げるときに注意（ちゅうい）すること（３）**

**小（ちい）さい火事（かじ）を見（み）つけたら、落（お）ち着（つ）いて火（ひ）を消（け）しましょう**

もし、近（ちか）くで火事（かじ）を見（み）つけたら、まず、自分（じぶん）で消（け）すことができるかどうか落（お）ち着（つ）いて考（かんが）えてください。

もし、火（ひ）が小（ちい）さかったら、消火器（しょうかき）を使（つか）うか、毛布（もうふ）を水（みず）でぬらして上（うえ）からかぶせると、火（ひ）が消（き）えます。

近（ちか）くに人（ひと）がいる場合（ばあい）は、一緒（いっしょ）に火（ひ）を消（け）すことができるか相談（そうだん）してください。

火（ひ）が大（おお）きくて自分（じぶん）で消（け）すことが難（むずか）しい場合（ばあい）は、急（いそ）いで火（ひ）がないほうへ逃（に）げてください。

地震（じしん）のあと、火事（かじ）が起（お）きていないか、近（ちか）くの人（ひと）と一緒（いっしょ）に確認（かくにん）すると安全（あんぜん）です。